事業所名	放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ　RECEIVE	支援プログラム	作成日	8 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念		□早期の出会いを大切にした家庭的な雰囲気の療育施設になる。 □ご利用児様はもちろん、ご家族様の幸せや豊かな生活のサポートをする。 （できた！を増やす療育。自分の体心を大切にする療育。人を許す心を大切にする療育。よく手、体を使い考え遊ぶ療育。） □働く方にとっての生活を支え、やりがいのある専門職の獲得の場となる。 □風通しの良い、笑顔の絶えない職場環境。
支援方針		・利用してくださった利用児童様の成長を一緒に喜ぶ寄り添える療育施設になる。 ・命を大切にする。丁寧に。心をこめて。の関わりの療育。 ・スモールステップでも成果をだす療育の提供をする。 ・療育の質を信頼してもらう。
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで　送迎実施の有無　（あり） なし
	支援内容	
本人支援	健康・生活	・スケジュールの視覚支援があることで生活に見通しが持て、切り替えるために自分にひつようなスケジュールがあるか。どの程度いれるといいかなどを学びます。 ・自分次第で遊びの時間や好きな時間が生まれる成功体験をします。 ・視覚支援のスケジュールの形状など自分の生活進行に便利を感じたりするものを考えます。
	運動・感覚	・感覚の統合を行います。（感覚の交通整理★）（感覚を正しく使い分けます★） →固有覚トレーニングSHOOTタイム・つくってあそぼう・クッキング、遊びトレーニングの提供をします。 指先課題で5つの感覚（視覚）（聴覚）（触覚）（前庭覚）（固有覚）使いながら活動ごとにどの感覚の使い分けを行えばいいのか、また過敏の特性を望ましく整理していきます。 ・機能訓練の提供をして眼球運動から運動計画ができるようにいろいろな運動や課題の理解の獲得をおこないます。
	認知・行動	・固有覚トレーニングを提供します。「教えてもらう」の理解を促し2項関係３項関係の成立を構築します。 ・本人にあった学習段階や内容を把握して関わります。 ・ワークシートや宿題を等して考え方を学び、解決の方法（ブロックなどの具体物）を自分でつかい問題をとけるように関わります。 ・数の概念やひらがなのお勉強を行います。 ・物の量感などのお勉強をします。
	言語 コミュニケーション	・状況判断の練習となる行動療法を取り入れています。。 ・SSTなどで客観的に物事を見て状況の判断の経験を提供。 ・コミュニケーションスキルをネーミングして共通理解をして使えるようにします。
	人間関係 社会性	・トークンシステムやスキルシートを作成して自己課題や目標の振り返りを行い、苦手なことや特性での人間否定ではなく特性の自己理解ができるようになます。そこから人のせいではなく自己管理するメリットを前向きに感じることができるようにします。
家族支援		・ご家族が心豊かな暮らしを続けられ、子育ての悩みの共有や解決のための助言を提供し、必要な情報を提供します。
移行支援		ご家族の方に対してご希望のある移行先に対する情報の提供や移行先での環境調整等の提案を行います。
地域支援・地域連携		学校と定期的に連携を行い療育活動の共有を行います。公共施設や交通機関の利用を行い、社会適応能力の向上や助長を行います。課題になったことの自己管理の仕方を療育活動にとりいれます。
職員の質の向上		毎月の研修の実施
主な行事等		クッキング、登山、農作業、夏祭り、運動あそび、おでかけ